

「マッコリという名の 生業と抵抗」

「戦後日本」の
地下経済と排除の歴史

今では日本でも親しまれている「マッコリ」。その白く濁った酒には、知られざる歴史があります。かつて朝鮮半島では各家庭でも当たり前で作られていた濁酒は、日本の植民地支配下で課税と取り締まりの対象とされ、生活の知恵であった自家醸造は「密造」とされていきました。戦後の日本でも、生活に困窮した在日朝鮮人が生きのびる手段としてマッコリを作ると、それは酒税法のもとで犯罪とされました。在日朝鮮人には、国際的に保障されるべき「内外人平等の原則」も、長く認められてきませんでした。本講座では身近な食文化から出発し、マッコリをめぐる法制度、植民地主義、そして生活の歴史をたどります。濁酒に秘められた記憶と声に、ぜひ耳を傾けてください。

講師

李杏理 (り・へんり)

東京経済大学教員。

専門は在日朝鮮人生活史、朝鮮ジェンダー史。

主要著作として、「脱植民地と在日朝鮮人女性による攪乱「解放」後の濁酒闘争からみるジェンダー」(『ジェンダー史学 = Genderhistory』(13)、2017年10月)、「在日朝鮮人女性にとっての交差性・複合差別を考えること」(『部落解放』(830)、2022年11月)、「在日朝鮮人にとっての家族と祭祀」(『季刊セクシュアリティ』(119)、2025年1月)など。

8月23日(土) 14:00~16:00
開場は13:30

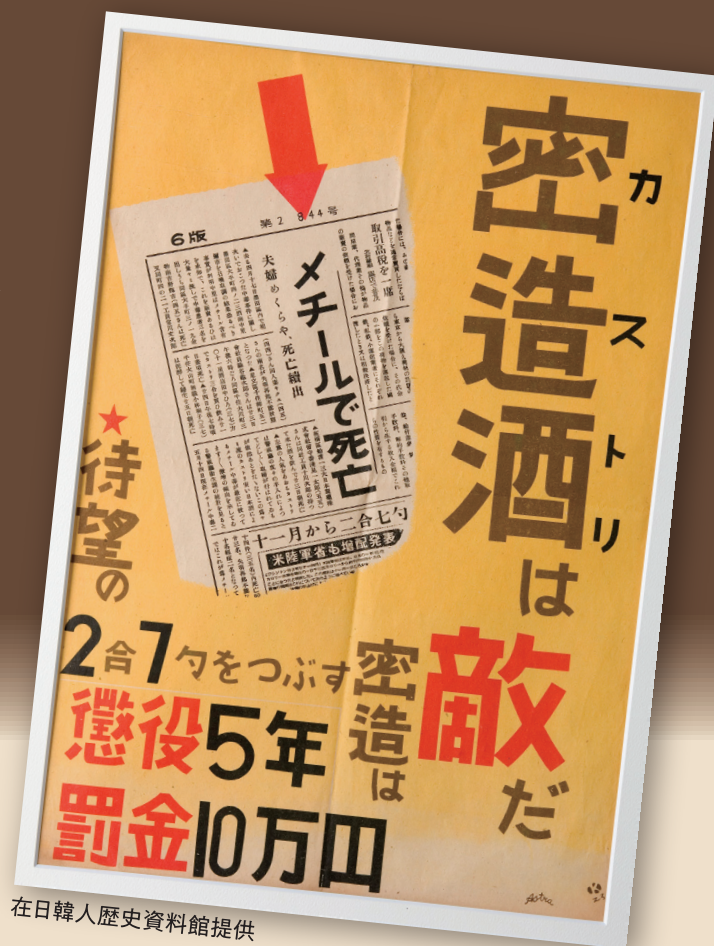
高麗博物館展示室(会場とオンラインのハイブリッド)

参加費1000円(会場・オンラインとも)

***要予約**

申込受付:会場参加は高麗博物館HP・メール・電話、
オンライン参加はHP

QRコードからも
講演会の
予約ができます



在日韓人歴史資料館提供

市民がつくる日本・コリア交流の歴史博物館

高麗博物館
고려박물관 KOREA MUSEUM

東京都新宿区大久保1-12-1 第2韓国広場ビル7階

TEL:03-5272-3510 FAX:03-3207-0533

E-mail: kh@kouraihakubutsukan.org

URL: https://kouraihakubutsukan.org/

